

あしや わがまち トピックス



園芸講習会の様子

芦屋市総合公園 9月の園芸講習会

①バラの育て方

■日時 9月6日(火)午後1時30分～3時
■講師 京阪園芸・グリーンアドバイザー／清水敏志氏

②ガーデニングレッスン3(おいしい野菜づくり)

■日時 9月15日(木)午前10時30分～正午
■講師 佃隆子氏 ■費用 800円

③ハイドロカルチャーで育てるグリーンインテリア作り

■日時 9月17日(土)午前10時30分～正午
■講師 前田典子氏 ■費用 2,000円

④手軽に楽しむ多肉植物の寄せ植え

■日時 9月24日(土)午前10時30分～正午
■講師 前田典子氏 ■費用 2,000円

⑤風にゆれる秋のコンテナガーデン

■日時 9月26日(月)午後1時30分～3時
■講師 佃隆子氏 ■費用 2,500円

■定員 各20人 ■持ち物 作品持ち帰り用袋・筆記用具 ■申し込み ①9月5日(月)②9月8日(木)③9月10日(土)④9月17日(土)⑤9月19日(月・祝)までに講座名・住所・氏名・電話番号を電話・ファクスまたはEメールで下記へ

問い合わせ 総合公園 ☎38-2103/☎25-2026/✉ashiyasogo@mizuno.co.jp

第7回芦屋文学サロン『須賀敦子と芦屋・西宮』

イタリアを愛し、文学を愛し、人を愛し、惜しまれて逝った作家・須賀敦子は、芦屋で生まれ、夙川、麻布で育ちました。各界の研究者やゆかりの人の話を聞きながら、その偉業を芦屋文学サロンでしのびます。
■日時 10月22日(土)午後2時開演(1時30分開場) ■会場 ルナ・ホール(全席自由) ■内容&講師 司会:河内厚郎氏【講演】「須賀敦子と阪神間の風景」蓮沼純一氏「声をもつことー須賀敦子さんの文学と生き方」北原千代氏【映像】「須賀敦子と生きた少女時代の記憶」/「須賀敦子の過ごした小林聖心女子学院」 ■入場料 当日1,200円(前売り1,000円) ■チケット販売所 8月15日(月)から、市民センター事務所・市役所売店・ローソンチケット(Lコード52146)で発売



小林聖心女子学院

問い合わせ ルナ・ホール事業担当 ☎35-0700

女と男の参画メール

相手の立場になって考える

問い合わせ 男女共同参画推進課 ☎38・2023

最近よく見かけるテレビCMがあります。アニメーションで、少年が想像力を膨らませ、魚やうさぎ、あらゆるものに変化し、最後にまた少年に戻り「ゆめも、やさしさも、想像力から生まれる。」と締めくくられます。これは子どもをターゲットにした「人の気持ちになって考えることの大切さ」をテーマにしたA.C.ジャパンのCMです。子どもたちみんなが元々持っている、大人よりもずっと豊かに使いこなしている想像力を、人の気持ちにも使ってみようというメッセージが込められ、アニメーションの絵柄も相まって、目を引きつけます。

要ですが、大人になるほどなかなか難しいことなのかもしれません。それぞれのライフスタイルやライフステージに応じた多様な働き方の実現を目指すという「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」という言葉がよく聞かれますが、実際にはどうでしょうか。「父親が育児休業を取る必要なんてあるのか」とか、「子どもがいる人だけが時短勤務するなんてする」といった雰囲気や、思いどおりにいかないというのが現状かもしれません。

「ゆめも、やさしさも、想像力から生まれる。」子どもでも大人でも、女性でも、男性でも、みんなに言えることです。

野菜マルシェ開催

8月31日は野菜の日！野菜を食べよう、GO！GO！5皿！！
■日時 8月31日(水)午前10時～午後1時
■会場 JR芦屋駅北側 ペDESTリアンデッキ
■内容 野菜の販売・試食等

問い合わせ 芦屋フレンチレストラン シェヴァー ☎22-0828

今から約1400～1200年前？

(飛鳥時代～平安時代ごろ？)

伝説の歌人・猿丸太夫のミステリー

「奥山に紅葉ふみ分けなく鹿の声聞くとときぞ秋は悲しき」という歌を、ご存じのかたは多いのではないのでしょうか。

この歌は、平安時代前期(約1100年前)の和歌集『古今和歌集』や、平安時代の終わりごろから鎌倉時代の初め(約800年前)に編纂された『小倉百人一首』に掲載されています。この歌の作者はというと、前者では、「よみ人知らず」(作者不明)とされており、後者では猿丸太夫という人物だとされています。

猿丸太夫は、三十六歌仙の一人にも数えられる人物ですが、その正体は謎に包まれています。その来歴については、聖徳太子の子であるとか、山背大兄王の第三子である弓削王の別名であるとか、これらよりも2000年前の平安時代初期約1200年前の人物であるとか、はたまた架空の人物であるとか、さまざまな説があります。今も謎多き、いわば伝説の歌人であるといえるのです。

そんな猿丸太夫と芦屋には、ふしぎな縁があるようです。寛政8年(1796)刊行の『摂津名所図会』には、「猿丸太夫古墳 東芦屋の西 芦屋川の傍にあり」と記されています。「古墳」は古い墓を示し、場所は現在の猿丸家之墓(東芦屋町・阪急芦屋川駅の北東にあたり)と考えられます。猿丸太夫と芦屋の間にはどのような関係があるのかはわかりませんが、当時から猿丸太夫の墓は芦屋にあると考えられていたようです。

とここで、『摂津名所図会』に紹介されているものとは別に、猿丸太夫の墓と伝えられるものがあります。芦屋神社境内にある市指定文化財「伝猿丸太夫墓」です(写真)。このようなかたち

の石の塔は「宝塔」と呼ばれ、その形の特徴より、鎌倉時代末～南北朝時代ごろ(約700年前)に作られたものと考えられます。もし、猿丸太夫が実在する人物であったとすれば、彼はいつた

い、いつの時代の人物なのでしょう。



市指定文化財 「伝猿丸太夫墓」

芦屋タイムトラベル 問い合わせ 生涯学習課 ☎38-2115